

平成27年度小田原市市民活動応援補助金交付事業一覧

平成27年7月27日
第1回会議
資料 10-2

<スタートアップコース>(上限10万円)

	事業名	団体名	概要	交付額
1	まちの居場所づくりのための プレイスメイキング・ワーク ショップ	小田原Laboratory.	小田原市の中心市街地における豊かな生活環境の創出を目指し、公共的空間の整備・活用を題材とした市民協働型ワークショップを行う。また、そのプロセスを通して街の多様な団体や個人がつながり、新たな市民活動の創出や連携体制構築のきっかけをつくる。	100,000
2	書道指導者育成による書道の普及事業・社会貢献事業	書道指導者育成協会	書道指導者育成協会が育成した書道指導者が、小中学生向け書道教室、教員向け書道教室、小中学校スクールボランティア活動、老人福祉施設での書道指導等を通じ、書道の普及を図るとともに人と人とのつながりを大切にしながら、社会に貢献できる活動を行う。	100,000

<ステップアップコース プランA>(事業費の70% 上限20万円)

	事業名	団体名	概要	交付額
1	酒匂川水系のメダカとその生息環境を保全・整備する事業	めだかサポーターの会	市の「緑と生き物を守り育てる条例」が指定する「野生の生き物保護区」を中心に、保護指定のメダカとその生息自然環境を守るために、巡回、雑草や藻類の除去、ゴミ拾集、有害動植物の駆除などの現地活動を定期的実施すると共に、同メダカや自然環境を保護することの重要性を一般市民と共に考え、学ぶための講演会・勉強会などの活動を実施する。	200,000
2	小田原ブックマーケット	小田原ブックマーケット運営委員会	小田原ブックマーケットは小田原の中心市街地の店舗が協力して開催する古本市である。小田原市栄町の本部会場(旧三福)を中心として近隣の商店・飲食店が店舗内に古書コーナーを設けて会場とし、来場者は回遊しながら古本市を楽しむ。街なかの店舗が協力しあい街を盛り上げる体制を作り、近隣からも出店者、来場者が集まり本を通じた文化的な交流を行う機会を作ることで、小田原での生活をより豊かにすることを目的とする。	180,000
3	小田原子育て支援ポータルサイト「びんたっこ」運営事業	小田原子育て支援ポータルサイト「びんたっこ」運営協議会	小田原で子育て中の世帯に、子育てに役立つ情報(例:イベント情報・幼稚園・保育園・公園・サークル等)を提供する。子どもの成長や生活に合わせて、欲しい時に簡単に、民間と行政の情報をまとめて入手できるサイトを目指す。	200,000

<ステップアップコース プランB>(事業費の50% 上限30万円)

	事業名	団体名	概要	交付額
1	現代美術展「小田原ビエンナーレ2015」	小田原ビエンナーレ実行委員会	2015年8月末週から9月の中旬まで、小田原市内の文化財建造物や古民家、画廊、公共施設等を使用して、現代美術展「小田原ビエンナーレ2015」の開催と、実験映画、アニメーション、映像の上映会を開催する。また、ビエンナーレ開催にともなうアートフォーラム、作家紹介上映会などを小田原市民を対象に開催する。	300,000
2	障がい者アート活動と市民をつなぐインクルージョン社会への取り組み事業	NPO法人 アール・ド・ヴィーヴル	知的発達障がいのある子どもから大人と保護者を対象とした様々なワークショップを企画しアート活動の場を提供する。ワークショップで生れた作品をギャラリーでの展示やイベントへの参加出店等、積極的に市民へ発信することで、障がいのある人となない人たちがお互いを必要とすることを知ることになり、インクルージョン(包括的)な小田原の町になることを目指す。	300,000
3	素人による耕作放棄地保全・再生プロジェクト	かなごて未来プロジェクトあおぞらみかんばたけ	高齢化によって耕作できなくなった農地を素人が立ちあがり様々な知恵を出し合い保全することで、耕作放棄地対策に新しい手法を具体的に示す。同時にこの手法をモデル化、マニュアル化することでその仕組みを波及させる。以上の取組みによって地域の再生と創生を行い、地域活性を図る。	300,000
4	トムソーヤになろう(自然体験による人間再生)	NPO法人 命を大切に する小田原を創る会	全国の統計によると、児童の体力測定の結果、子供達の体力が衰退。そこで未来に立ち向かう子供達を自然体験の中で育成し体力をつける。山登り、樹木から吊るしたロープでターザンのように木から木へ渡り歩く、山林の中での探検、今まで触れる事が出来なかった自然体験を通し、心と身体を育成する機会を作る。	252,000

交付額合計 1,932,000

(予算額 2,000,000)